

伊勢という自然と共存している街で生まれ育って以来、東京に上京してから緑がある街を求めて色々住みましたが、一番長く住んでいる街がここ駒沢。

交通の便もよく、閑静な住宅街で、駒沢オリンピック公園を中心とした運動するにも環境がよく、日常的に運動をされている人も多く目立ち、そのような光景を目の当たりできる街としても好きです。そのためこの街にはたくさん体を動かすことができる場所やジムが多



『駒沢で新たなスポーツにチャレンジ』  
滝川奈穂（四十代）

この街で生まれて初めて出会ったブラジリアン柔術で日々体を動かして汗を流していき、全くと柔術をできる機会を作っていく、健康な体づくりを一緒に作っていきたいと思います。

女性も駒沢で開催される際はぜひご参加ください！

自然と緑と光に導かれた結果、柔術ライフを楽しみ、この街に住んで早13年目。第二の故郷としてこれからこの地域の方との交流とご縁を大切にしていきたいです。

今回は米良ゆうかさん

◆上馬地区防災関連情報（カッコ内は会場）

- 10月 5日（土）小泉公園ふれあいフェスタ（小泉公園）
- 10月26日（土）\*上馬地区合同防災訓練（駒沢小学校）
- 10月27日（日）上馬・駒沢明和会 防災訓練（小泉公園）
- 11月 2日（土）上馬東町会自然と親しむ体験フェスタ（上馬公園）
- 11月 9日（土）上馬東町会 防災訓練（上馬公園）

\*合同防災訓練には、東京消防庁に1台だけ！VR（仮想現実）防災体験車も来場予定です。ぜひご参加ください！

◆日赤上馬分団より

- ◇日赤活動資金募集結果  
1,613,400円
  - ◇バザー収益  
189,061円
- （バザー収益の一部は東日本大震災・熊本地震の義援金として寄付）
- ご協力いただき、ありがとうございました。



◆いまどめまつり

令和元年10月19日（土）・20日（日）駒留八幡神社（上馬5・35）で行われます。ご家族お揃いでお出かけください。

編集後記

令和初の13ひろばを楽しんでいただけただけでしょうか？

二面では創刊35周年を記念して、創刊時の編集委員の方へのインタビューを掲載しました。これだけ続けられてきたのも読者の方の存在があってこそ。ご愛読いただき、ありがとうございます。

\*

前号から新しく上馬西町会の田村善俊さん、今号から上馬・駒沢明和会の大橋かず子さん、今号から上馬・駒沢明和会の大橋かず子さんを委員としてお迎えしました。また、前号をもって委員の枚敷マリ子さんが勇退されました。長い間ご苦勞様でした。

これからも地域のさまざまな情報をお届けしたいと思っております。ご期待ください。

（編集委員K）

本紙は世田谷区のホームページでもご覧いただけます！

13ひろば 検索



発行 13ひろば編集委員会  
責任者 野村 光代

事務局 上馬まちづくりセンター  
住所 世田谷区上馬4-10-17

電話 03 (3422) 7415  
FAX 03 (5486) 7668

団体紹介 日本赤十字奉仕団上馬分団って...?

「赤十字のボランティア活動を通して地域社会を住みやすくしよう」という気持ちを持つ人々の集まりです。上馬・駒沢地区の5町会から選出された分団員52名で活動しています。代表的なものとして、次のような活動を行なっています。ぜひ関心をお持ちになり、ご参加いただけますよう、お願い申し上げます。（関連記事4面）

■活動資金募集（5月）

日本全国各地で災害が起きた際に、医療活動・救援物資の配布・義援金の送付などの原資となる活動資金（寄付金）募集を行ないます。



■地域住民対象講習会（11月）

去年は「震災への水道の備え」と題して東京都水道局から講師を迎えて開催しました。今年は、トイレに関する講習会を企画、検討中です。

■バザー（6月上旬日曜日）



例年上馬まちづくりセンター2階で開催します。地域の皆様からの寄贈品が安価でお求めになれます。収益金の一部を被災地への義援金として届けています。



日本赤十字社公式キャラクター ハートラちゃん

■献血キャンペーン（11月）

例年三軒茶屋ふれあい広場で行ないます。緊急時の血液を提供していただくために、若い方のご協力をお願いします。

野村伸子分団長より

地域活動などの経験がないままに日赤奉仕団上馬分団長をお引き受けして夢中で走り続けて4年目になりました。

5町会の協力、まちづくりセンターの協力、そして分団員さんたちのチームワークのすばらしさについても感謝の気持ちでいっぱい

です。おかげさまで、恒例のバザーも6月2日に無事盛況で終わることができました。たくさんのご協力ありがとうございました。

奉仕団活動の歴史は古く、その伝統を守りながらも現代にも適応できるしなやかな活動を目指しています。

現在、活動をサポートくださる方を募集しております。ぜひ私たちと一緒に赤十字の支えあいや、災害救助、減災などを体験しながら学びませんか。まちで日赤のマークを見かけたらいつでもお声を掛けてください。皆様の参加をお待ちしています。